

「指導と評価の一体化」による学習評価の充実推進事業（3/3年次）

実践発表会

令和8年2月5日(木)

岐阜市立加納小学校

メニュー①

「自己調整力と自己評価力の育成につながる学習評価の在り方」

実践のキーワード

★ 単元全体で、学びをデザインしきること

★ 誰一人取り残さないための、指導・援助を明確にすること

T 4けたのパスコードは、
本当に安全か？

全ての通り数を求めることが必要→ **学ぶ目的**
教科書でどんな問題があるか→ **学習内容を見通す**

見通し		順 列		組み合わせ		活用・習熟	
第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時	第8時
学習の見通し 学ぶ目的と	複数のものを順番並べ方の総数	全体から一部並べ方の総数	起こり方の順番総数 同じこと繰り返し。	複数のものから2つの組み合わせ方の総数	4種類から3種類の組み合わせ方の総数	起こりうる場合と目的に合う行き方	確かめ問題
●主	●思 ●主	●知 ●主	○知	○思 ●主	●知 ○主	●思	○知 ○思
一斉型で共有する		自立的に進める		一斉型で共有する		自立的に進める	

式をつないで順序よく調べる方法について思考し、全員で考え方を共有 → **方法を獲得**

早く定着する児童
定着していない児童

→発展的に取り組む
→じっくり取り組む
※教師は取り残さない
→**学習状況に応じて自己選択**

第2時 全体交流の後（終末15分）



今日学んだ考え方を発展させるなら、
どんなふうに発展させますか。

「乗り物を4つから5つにしてやってみたい。」



では、ここまでの追
究の手応えを基に、
学びの地図から学習
内容を選択して取り
組みましょう。

→自己選択

この時間に・・・
「CをBにする指導」と
「正しい選択ができてい
ない児童への指導」を行
う。→取り残さない指導

第2時 +α学習までの学びの地図

確かめ問題 ○つけて提出箱へ

できた

自分で場面や数値
を変えて確かめる

教科書や算練で
練習する

第3時の学習へ
進む

自分の興味関心、生活にいかす

サッカーに興味がある子 リレーに興味がある子

今日の内容をさらに発展させる

できなかった

もう一度、今日の問
題を先生と確認

もう一度、今日の問
題を自分で確認

確認したら、もう一
度確かめ問題へ

できたへ

「3 on 2」「ハーフコート」
→運動の局面を限定

どの子にも、シュート、パス、ドリブル、チーム作戦
が成功する喜び
→運動への魅力を確保、中学校との系統性

第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時	第8時
方、試しのゲーム 3on2のゲームの仕	ゲーム それを意識した	作、 チームで得点を取 るためのボール操	ゲーム それを意識した の確認、	ボールを持たない 時の動き方について	して、ゲーム ながら、動きを選択	前時までの学習を 基に、状況判断をし	クラス内対抗ゲーム
●知① ●思①	●思① ○主①	○知① ●思②	●知② ○思②	○知③ ●主②	●思① ○主②	●思①	○思① ○知②

全体会での課題把握を基本とする

子どもに委ねる時間

単元前段→方法の獲得

単元後段→自分たちでチーム状況に応じて、動き
を選び、お互いの動きを見あう

→自己選択、他者評価と自己評価

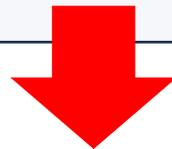
3時間で評価していく。
第6時の指導を生かし、第7時
で誰をこそ指導しきるか明確に
する→取り残さない指導

第6時までで、思考が「C評価」だったA児



(実態) 自分やチームの状況に応じて、発揮したい動きを選べていない。

(要因) 自分の動きを客観的に捉えることに弱さがある。自分の考えたことをうまく言語化できない。



第7時のA児への指導・援助

★ 「レベル表カード」「動画」「課題の達成状況を数値化できる学習記録」の活用による可視化

★ チームの仲間や教師からの即時評価
教師の問いかけによる、目標設定や振り返りの言語化

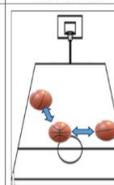
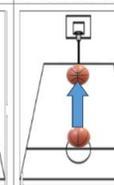
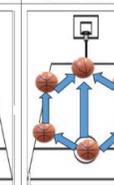
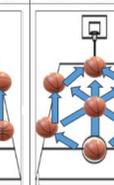
第7時の指導・援助

★ 「レベル表カード」 「動画」 「課題の達成状況を数値化できる学習記録」

今日のチーム課題

三角形を作った後の動き(相手を見て動く)

ゴール型 チームレベル表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5 (中学レベル)
ゴールにかたり、攻めが止まる	仲間パスして攻める	ゴールよりも前に広がって攻める	ゴールよりも前・横に動いて攻める	動きながら(ゴールを囲いながら)攻める
				
意識：ボール 全員周りを見て、空いている場所を探す。	意識：味方 ボールを持った人から離れ、アビールする。 パスを出す	意識：ゴール ゴール前に入り込む 縦にパスを出す	意識：場所・ゴール ゴール前に入り込む 縦にパスを出す	意識：役割 走りながらパスをもらう パスを走り込みでパスを出す
ボールにかたまっ、ボールがなかなか通まない。	少し、広がり、空いた仲間にパスして攻めている。	ゴールを意識して、ゴール保 持者より前にパスを送り、素早く攻めている。	空いているスペースを使いながら、ゴールより前に動いたり、横にも広がったりしながら攻めている。	縦に動いてパスを出して攻めている。

動画は、蓄積、共有



ゴール型 個人スキル表 (自分に合った動き方)

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5 (中学レベル)
意識：ボール	ゴールにかたり、攻めが止まる	仲間パスして攻める	ゴールよりも前に広がって攻める	ゴールよりも前・横に動いて攻める	動きながら(ゴールを囲いながら)攻める
意識：味方	ボールを持った人から離れ、アビールする。	ボールを持った人から離れ、アビールする。	ボールを持った人から離れ、アビールする。	ボールを持った人から離れ、アビールする。	ボールを持った人から離れ、アビールする。
意識：ゴール	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む
意識：場所・ゴール	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む	ゴール前に入り込む
意識：役割	走りながらパスをもらう	走りながらパスをもらう	走りながらパスをもらう	走りながらパスをもらう	走りながらパスをもらう
パス出	▲パスが出せない ・近くの仲間にパス ・山なりのふわっとしたパス	・とられないパス ・素早いパス	・縦に長いパス ・ゴールに近づいたパス	・縦、横、ななめなど、色々な方向への鋭いパス (バウンドパス)	・仲間に合わせてのパス ・仲間の動く先へのパス (リードパス)
パス受	▲パスが出せない ・近くの仲間にパス	・味方の近くでパスをもらう	・ボールラインより前に動く	・相手かわりながら、ゴールに近い、空いている場所へ動く	・仲間の動きに合わせて、スペースをつくりながら動く
シュート	▲ゴールに届かない ・リングをめがけて、側から、シュートをする	・フリースタイルでゴールから、シュートをする	・チャンスを作って、シュートをする	・回転を意識した、山なりのシュートをする	・ランニングシュート ・3ポイントシュート
ドリブル	▲ボールが安定しない ・ボールの真ん中を意識してドリブル	・指先やボールを強く弾きながらドリブル	・手元を見ないでドリブル	・ボールを守りながら、ドリブル	・ボールを自在にコントロール

バスケットボール 学びシート

名前: _____

三角形を崩さずに動くことができるように仲間の位置を意識

課題の達成度 **1 2 3 4**

三角形を崩さずにできたけど、パスをもらうのが苦手なところがあったから、練習を繰り返して、仲間の動きをよく観察して、自分もできるようにしたい

バスケットボール 学びシート

名前: _____

三角形を崩さずに動くことができるように仲間の位置をよくみながら動く

課題の達成度 **1 2 3 4**

最初は、三角形を崩してしまったり、パスをもらうのが苦手なところがあったけど、練習を繰り返して、仲間の動きをよく観察して、自分もできるようにしたい

バスケットボール 学びシート

名前: _____

どこでも三角形を作ることができるように動く

課題の達成度 **1 2 3 4**

三角形を作ることができたけど、パスをもらうのが苦手なところがあったから、練習を繰り返して、仲間の動きをよく観察して、自分もできるようにしたい

バスケットボール 学びシート

名前: _____

三角形を作った後、シュートに繋げる動き

課題の達成度 **1 2 3 4**

三角形を作った後シュートに繋げる動きが苦手なところがあったから、練習を繰り返して、仲間の動きをよく観察して、自分もできるようにしたい

シュート位置一攻撃時ボールの動き

ボールが動いた後の三角形への動き

A見	正正正
B見	正正正
C見	正正正
D見	正正正

個人課題

	①	②	③
A見	○	×	○
B見	○	○	○
C見	○	○	○
D見	○	○	○

ゲーム中に気付いたこと

次回のチーム課題 まわりを見て、仲間との位置を考えながら攻める

視点の共有化 教師が教えたこと=子どもが学びたいこと

第7時の指導・援助

★ チームの仲間や教師からの即時評価
教師の問いかけによる、目標設定や振り返りの言語化



Aさん、今、「三角形の位置」に動けてたから、パスがつながって、シュートまでいけたね。



Aさん、三角形、三角形！
今、パスいけるよ！



Aさん、今日生かしたい動きはどうだった？
ゲーム記録を見てみても、やっぱり三角形を意識して動けたことがわかるね。これは、どんなことを意識したからかな？

Aさんの振り返り

今日、僕のチームは1勝1敗だった。後半ゲームで勝つことができたのは、チーム課題の攻める時に三角形の形を意識しながら動くことができたからだと思う。自分も仲間の声かけがあって、三角形を意識しながらゴールに近づき、パスをしたり、シュートをしたりすることができた。



成果

○単元全体で学びをデザインしたことで、教材研究の重要性が再確認できたことと、構想するために各教科で共通して重要となる要素を見出せた。

「学習の目的や必然を生み出す教師の指導性」

「調整するための方法を獲得する場」

「調整が効果的に発揮できる自己選択の場」

「評価したいことに応じて指導を柔軟に工夫すること」

○指導と評価の一体化の実践を3年間重点的に継続してきたことで、取り残さないための実態把握や指導援助のあり方を具体化できた。

課題

- 教師にとっても、子ども自身にとっても評価の妥当性・信頼性を高められるようにしたい。
特に、自己評価の中身において、『どうしてその自己評価にしたのか』を「なんとなくできた」ではなく「こんな理由でできた」と語れる児童の姿を増やしていく。